「花」と「みどり」に
彩られた人々に愛される
空間をつくります。

# 地域交流拠点の機能最大化を目指したリニューアル事業

**活動時期　2021 年 4 月～ 2023 年 3 月**

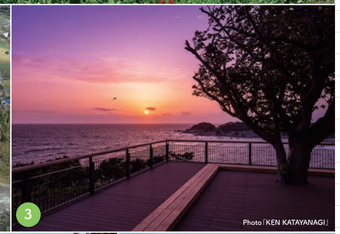
**活動場所　長井海の手公園「ソレイユの丘」（神奈川県横須賀市）**

長井海の手公園「ソレイユの丘」は PFI 方式により整備・運営が行われた全国初の都市公園です。開園から 20 年の節目を前に、交流の場として更なる魅力向上を図るため、未共用部や崖地（6.7ha）の活用と「P-PFI+ 指定管理者制度」による拡張、及び全体のリニューアル整備を行いました。地域の交流拠点としてのポテンシャルの最大化を目標に、長井海の手公園等交流拠点機能拡充事業として改修を行い、弊社は造園整備及び以降 20 年間にわたる指定管理事業者として携りました。

**活動の目的**
公園開園 20 年の節目を前に、地域の魅力を活かしたポテンシャルの最大化やブランド力向上に資する機能の充実を目指し、「観光立市よこすか」の実現に向け、広域的な観光交流拠点機能の充実を図り、よこすか西海岸や三浦半島全域に波及する賑わいの創出を目指しました。

**取り組み・成果**
コンセプトである「海と大地のエンターテイメント・パーク」を実現させるため、「圧倒的な花修景」「豊かな自然環境を園内に引き込むダイナミックなランドスケープ」を念頭に取り組み、崖地部分の眺望の向上や芝生地、花壇等による景観の向上を実現しました。

**今後の目標・課題**
リニューアルとして機能や利便性の維持向上も必須です。施設を今後も末永く活用していくために、インフラ設備の利活用を考慮した改修を行わなければなりません。リニューアル時も様々な工夫を凝らしましたが、今後の管理運営においても多角的な視点での創意工夫が大切と考えています。



1 花畑の賑わい富士を望む。　2 三浦半島の特色、崖地に面したソレイユの丘。崖を降りて機遊びも OK。　3 在崖地整備による眺望デッキからの絶景。
4 交流拠点施設（通称：長井ベース）とジップラインを備えた大型アスレチック施設。　5 相模湾を一望、長大デッキ散策路。
6 花畑とヤシと眺望抜群のヒルトップレストラン。

1 ジブリの大倉庫植付け後風景（水生植物もいます）　2 ジブリの大倉庫植付け後風景（室内でも元気です）

# 「ジブリの大倉庫」建物の中に居ながら外でもあるような空間を表現

**活動時期　2021 年 10 月～ 2022 年 10 月**

**活動場所　ジブリパーク（愛知県長久手市　愛・地球博記念公園内）**

愛・地球博記念公園内にて、2022 年 11 月に開園した「ジブリパーク」の一角にある、「ジブリの大倉庫」の室内緑化の施工に携わりました。今回の工事では以前屋内プールとして利用されていた吹き抜け空間を活かし異国的な雰囲気を演出し、訪れるファンに驚きと感動を与え喜んでいただけるよう、造園会社として樹木材料の調達から施工に至るまで尽力いたしました。

**活動の目的**
当社は「ジブリの大倉庫」において、使用植栽材料の提案、難易度の高い大型樹木の室内移植工事の施工を求められました。加えて工事完了後の維持管理業務においても、熱帯植物が生育できる室内環境の整備や魅せる管理手法の検討が求められました。

**取り組み・成果**
本物件の構想では、熱帯植物が多く採用されていましたが元あった建物を再利用しているため、屋内に入る光量に限りがあり、使用する植物によっては光量不足で生育が困難な恐れがありました。そこで、光量不足でも生育できるよう半年間の順化養生を徹底したことで、無事根も活着し生育も良好です。

**今後の目標・課題**
今後ジブリパークは新しいエリアもオープンして、益々多くの来園者でにぎわうことが予想されます。引き続きジブリパークの目指すものをスタッフ全員が理解し、維持管理に努めて参ります。また、従来とは違う生育環境のため異変があればすぐに察知し、迅速な問題解決が求められることになります。

1 多様な植物で季節の移り変わりを感じることのできる水景空間。　2 91 本のハナノキの木陰を利用したクールスポット。
3 様々な野鳥や昆虫が訪れる生物多様性。

# 都会に誕生した緑のオアシス 人と環境に優しい緑地を目指して

**活動時期　2022 年 12 月～現在**

**活動場所　Otemachi One Garden（東京都千代田区）**

Otemachi One Garden は、日本を代表するオフィスエリアである大手町に位置し、皇居の広大な緑地との連続性による緑のネットワーク形成と、豊かな緑地空間の創出を目的につくられました。四季を感じられる木々の中には、インペリアルグリーンと呼ばれる広々とした芝生広場があり、都心にいることを忘れさせるような潤いのある空間になっています。芝生広場を中心としてイベントも多く開催され、にぎわいのある緑地空間です。

**活動の目的**
都心での緑地空間の創出による環境負荷軽減やカーボンニュートラルへの貢献を目指しています。生物多様性にも配慮し、皇居周りの植生に合わせた植栽施工や、水辺空間の確保による動植物の誘致を期待しています。緑地空間が 7 つのゾーンに分かれた多様な植生となっており、季節の移り変わりを感じることができます。

**取り組み・成果**
敷地内にある高中木は約 300 本、低木は約 6600 本。これらの木々が年間固定する $CO_2$ の量は 11 トンに及ぶと試算されています。ヒートアイランドの抑制やクールスポットの形成、生物の生息空間などのほか、緑地での環境教育やイベント開催など、人と環境の両面に最適なグリーンインフラとして活用されています。

**今後の目標・課題**
希少な緑地空間を最大限生かし、イベントの場としてだけでなく、より多くの方に自然を感じて頂くための環境学習の場としても提供、発信していきたいです。また技術者の減少が見込まれる中、持続可能な植栽の維持管理や倒木などのリスク管理に対し、新技術を積極的に取り入れて生産性の向上を目指す必要があります。